

2022. 4/11

# Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動

## ニリンソウ満開→ヤマブキソウとのそろい咲き



前週の 4/4 は冷たい雨で中止になった「春の野草観察会」ですが、4/11 は一変して夏の陽気。ニリンソウも満開になって見に来る人たちを歓迎してくれました。ニリンソウの間に黄色く咲いているのはヤマブキソウ。ニリンソウよりも絶滅危惧度が高い野草です。緑の葉がまだ花をつけていないヤマブキソウで、ニリンソウと交代するように花が増えていき、5月の連休前まで楽しめそうです。

赤塚城址の北側林縁では、仲良く揃って咲いている姿も見られます（ヤマブキソウの黄色い花の影の白いのがニリンソウ）。この場所は「みどりの手」やモニタリングの仲間が、林床を暗くしない（たくさん植物が生きやすい）ように手入れを行ってきて、ムラサキケマンとニリンソウの群落が連続して観られるようになりました。



# 今日も新しい発見あり！



ニリンソウ月間中はチラシやポスターでご案内して、月3回月曜日の植物モニタリングを「春の植物観察会」として公開していました。4/11は20名の参加があり、2グループに分かれての観察になりました。

このモニタリング、もう7年目に入るのに毎回のよように発見があります。この日は植物にいちばん詳しいお仲間がアケビの雄花を発見してくれました。右の写真上です（下が雌花）。条件が悪いので実を結ぶまでにはならないと思いますが、一か所で観察し続ける意味がこういうところにあります。複数人の複眼で観るのも大事なことです。



## ←この視野の中だけで 植物44種が開花・展葉

でも、この観察会は珍しい植物やきれいな花だけを見て歩くものではありません。植物以外にも昆虫、野鳥、その他の生き物すべてが生きやすい環境とはなにかを考えながら行っています。こういう目で見ると、ニリンソウ自生地のある入り口・大門広場の左の写真の視野の中だけで、4/11には花を咲かせ

たり春の葉を広げている植物がざっと数えて44種もありました。

名も知らない草に、ほら、昆虫がとまっていますね。多分、交尾の最中。命の育みがここにある。それを大事にしようと始めた活動です。

**ニリンソウ月間が終わっても、植物モニタリング活動は続けます。だれでも参加できる、各人の自主活動です。**

毎月第一、第二、第三月曜日 9:00 ため池公園スタート

<問合せ：赤塚公園サービスセンター03-3938-5715>

